

00837

鳥取縣公報

第九百十三號

昭和十三年三月二十五日

金曜日

縣令

◇鳥取縣令第五號

郡市町村農會技術員資格試驗規程左ノ通定ム

昭和十三年三月二十五日

鳥取縣知事 立田清辰

郡市町村農會技術員資格試驗規程

第一條 農林省令第二十八號郡市町村農會技術員設置助成規則ニ基ク農會技術員ノ資格試驗ハ本規程ニ依リ之ヲ行フ

第二條 受験資格者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ年齡滿二十三歲以上ノ者ニシテ鳥取縣農會長ノ推薦アル者タルコトヲ要ス

一 舊乙種農業學校卒業程度以上ノ學力アル者及青年學校又ハ高等小學校卒業者ニシテ農事試驗

33300

00833

場、農民道場等ニ於テ一年以上訓練ヲ受ケ且農會技術員ノ經驗三年以上ノ者

二 農會技術員ノ經驗五年以上ノ者

第三條 前條ノ資格者ニシテ受験セントスル者ハ様式第一號ニ依ル願書ニ鳥取縣農會長ノ推薦書及

履歷書寫真(脱帽半身ノ名刺型ニシテ台紙ヲ附セザルモノ)ヲ添附シ之ヲ知事ニ提出スベシ

第四條 試験ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ行フ

一 學科試験(舊甲種農業學校卒業程度)

土壤、肥料、病理、昆蟲、作物、園藝、養蠶、畜産、農産製造、農業經濟、作文

二 實地試験

肥料、種子、農業藥劑ノ鑑定其ノ他

三 人物考査

四 身体檢査

第五條 試験委員ハ左ノ者ノ中ヨリ知事之ヲ任命又ハ囑託ス

一 縣職員

二 縣立農業學校職員

三 縣農會職員

00800

00839

第六條 願書提出期日及試験日時、場所ハ其ノ都度縣公報ニ之ヲ告示ス

第七條 試験ニ合格シタル者ハ縣公報ニ之ヲ告示ス

第八條 試験合格者ニ對シテハ様式第二號ニ依ル農會技術員資格認定證ヲ交付ス

第九條 試験ニ合格シタル者不正ノ方法ニ依リテ受験シタルコト發覺シタルトキハ其ノ資格ヲ取消

スコトアルベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(様式第一號)

農會技術員資格試験願

本 籍

現住所

氏

生 年 月 日

名

私儀農會技術員資格試験相受度ニ付關係書類添附此段及御願候也

年 月 日

00840

知事 宛
(様式第二號)

合 格 證

鳥取郡 市 町 村
何 某

氏 名 印

右ノ者本縣ニ於テ施行シタル昭和十二年農林省令第二十八號ニ依ル農會技術員資格試験ニ合格シタ
ル事ヲ證明ス

昭和十三年三月廿五日

知 事

告 示

鳥取縣告示第百六十三號

昭和十二年度水稻並陸稻原種左記ノ通配付ス

昭和十三年三月二十五日

00800

00841

水 稻

鳥取縣知事 立 田 清 辰

品 種 名	配 付 數 量
大 山	八、〇〇〇石
強 力 二 號	五、〇〇〇
銀 主 坊 一 號	九、〇〇〇
水 稻 農 林 六 號	七、〇〇〇
葛 橋	三、〇〇〇
興 州 二 號	一、五〇〇
丸 山 一 號	一、五〇〇
水 稻 農 林 十 號	八〇〇
鳥 取 旭 一 號	二、二〇〇
水 稻 農 林 八 號	二、〇〇〇
計	四〇、〇〇〇

品 種 名	配 付 數 量
陸 稻	
陸稻農林五號	一、〇〇〇石
黑 禾	、九〇〇
日野早生糯	、四〇〇
凱 旋 糯	、三〇〇
計	二、六〇〇

但シ陸稻ハ有償配付トシ原種一升價格金貳拾五錢トス

◇鳥取縣告示第百六十四號

當管内ニ於ケル健康保險醫左ノ通指定セリ

昭和十三年三月二十五日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

專 門 科 名	診 療 所 所 在 地	氏 名	指 定 年 月 日
内 臟 外 科 耳 鼻 咽 喉 科	鳥取市吉方二九二番地	岡 垣 一	昭和十三年三月廿二日

◇鳥取縣告示第百六十五號

當管内ニ於ケル健康保險醫左ノ通異動アリタリ

昭和十三年三月二十五日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

診 療 所 所 在 地	氏 名	異 動 事 項	異 動 年 月 日
鳥取市大榎町	南 條 俊 夫	死 亡	昭和十三年二月二十七日

◇鳥取縣告示第百六十六號

左記墓地ハ改葬セラルベキニ付緣故者ハ昭和十三年三月三十一日迄ニ管理者宛申出ラルベク若シ期日迄ニ申出無キ場合ハ管理者ニ於テ適宜改葬スベキ旨照會アリタリ

昭和十三年三月二十五日

00844

墓地所在地

函館市住吉町八番地ノ甲住吉町墓地改葬ヲ要スル墓所數三基

管理者

函館市高龍寺住職

上

田

大賢

◆鳥取縣告示第六十七號

郡市町村農會技術員資格試驗規程第六條ニ依リ同試驗左ノ通施行ス

昭和十三年三月二十五日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

一 願書提出期限

昭和十三年三月二十九日迄

二 試驗 期日

昭和十三年三月三十一日午前九時開始

三 試驗 場所

鳥取市仁風閣

彙

報

三月廿三日發行「週報」掲載内容左ノ通

週報第七十五號掲載内容

伊太利のフアンズム

(外務省情報部)

00845

01800

一 航空機製造事業法案に就いて

(逓信省)

一 敵都空襲の體験

(海軍省海軍軍事普及部)

附 戦況

一 我が砲火隴海線を制壓す

(陸軍省新聞班)

一 馬の軍事教練

(馬政局)

(國際時事解説)

一 獨逸合併成る

(外務省情報部)

○ 最近公布の法令

(内閣官房總務課)